※令和４年度以降入学生用

学校番号	216

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	日本史入門	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書							
副教材等	書き込み教科書詳説日本史改訂版（山川出版）　図説日本史通覧（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・東アジアのとの関わりを中心に日本の歴史を古代から中世にかけて絞って学習します。
・エピソードや地域の遺跡・文化財等を紹介しながら、図表・ビデオ・図書館資料等を活用し、生徒の発見を重視します。
・学習を深めるためにノートを準備してください。

2　学習の到達目標

第３学年で学習する日本史の導入として、世界史の学習と関連させながら、東アジアの中での日本の成立と発展を概観し生徒の歴史観を育成する。
(1) 自国の歴史の展開に関わる諸事情について、世界史的な観点と地理的条件を関連付けながら総合的に捉える力を付ける。
(2) 自国の伝統文化を時代や地域などの要素を多角的、多面的に考察する力を付ける。
自国の歴史を通じて未来へのより良い社会を実現できる力を付ける。
(3) (1) (2) の力を元に情報や知識を的確に入手し整理し、それに基づいて考察や議論を行い、さらに考えを発展させる力を付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・我が国の歴史の展開に関わる諸事情について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 ・諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、現代とのつながりなどに着目して多角的に考察し、解決を視野に入れて構想することができ、それの基づき発表や議論をおこなうことができる。	・我が国の歴史の展開に関わる事象について、見通しを持って学習に取り組む姿勢がある。 ・より良い社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返り、次の学習へのつながりを見つけ出そうとする姿勢が見られる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	古代国家の成立	日本文化の曙 律令国家の成立 貴族政治と国風文化	a:縄文時代から弥生時代を経て中国や朝鮮など大陸の政治文化の影響を受けながら発展してきた我が国の政治文化を理解する b:我が国の政治文化は常に中国や朝鮮など大陸の政治文化とのかかわりが強いことを、自分の言葉で表現できる c:古代国家の政治文化を主体的に考察している。	授業ノート 定期テスト	授業ノート 定期テスト	振り返りシート ワークシート
2	中世社会の成立	院政 武士社会の成立	a:院政期から鎌倉幕府の成立までの過程を理解している。 b:武士社会の成立には土地制度の変化が大きく影響していることを考察し自分の言葉で表現できる。 c:武士社会の成立について主体的に考察している。	授業ノート 定期テスト	授業ノート 定期テスト	振り返りシート ワークシート
3	中世社会の広がり	南北朝時代 室町幕府の成立	a:南北朝時代から室町幕府成立および滅亡の過程を理解している b:地方における武士（大名）の勢力の拡大がその後の戦国時代や江戸幕藩体制につながることを関連付けて考察できる。 c:大名の成長過程について主体的に考察している。	授業ノート 定期テスト	授業ノート 定期テスト	振り返りシート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度